

広域的地域活性化計画の事後評価報告シート（1）

都道府県名： 岡山県

計画の名称： 広域的地域活性化基盤整備計画（岡山県南地域）

1) 事業の実施状況

計画の整備方針	事業区分	事業名	事業実施状況	事業未実施の理由
水島港の物流機能強化	基幹事業	一般県道 倉敷西環状線（西之浦西バイパス）	○	
		一般県道 倉敷総社線（西岡～三因バイパス）	◎	
	関連事業	多目的国際ターミナル・臨港道路整備（水島港玉島地区）	△	整備計画通り実施中
		玉島東航路（-10m）整備（水島港玉島地区）	◎	
		一般県道 倉敷西環状線（西之浦西バイパス）	○	
		一般県道 倉敷総社線（西岡～三因バイパス）	○	
		一般県道 水島港唐船線（水玉JCTアクセス道路）	△	整備計画通り実施中
		一般国道2号（玉島・笠岡道路）	○	
		一般国道2号（笠岡バイパス）	△	整備計画通り実施中
		一般国道2号（倉敷立体）	△	整備計画通り実施中
		一般国道2号（妹尾西交差点改良）	○	
		一般国道180号（岡山西バイパス）	◎	
		（総社）市道 清音神在本線（清音柿木～富原）	△	整備計画通り実施中
		（倉敷）市道 柏島道越線（道越ICアクセス道路）	△	整備計画通り実施中
（倉敷）市道 高砂町中島柳井原線（西阿知町～船穂町）	△	整備計画通り実施中		

◎：計画期間中に完成 ○：現時点（H26年）で完成 △H27年以降完成見込み -：事業を中止
（計画期間はH20～H23）

2) 目標の達成状況

計画目標	事業効果の確認方法	指標名	従前値	目標値	評価値
水島港の港湾施設、水島臨海工業地域内の道路網及び水島港を物流拠点としている市町からの主要アクセス道路等を整備し、物流機能の強化を図る	計画で定めた目標指標	①貿易額	23,134億円（H18年）	31,600億円（H23年）	32,040億円（H23年）
		②製造品出荷額等	66,837億円（H18年）	75,000億円（H23年）	77,338億円（H23年）
		③企業立地件数	24件／年（H18年）	150件／H19～H23	55件／H19～H23
	目標指標以外の成果指標				
その他の定性的な成果					

広域的地域活性化計画の事後評価報告シート（2）

3) 目標達成・未達成への事業の効果の影響分析

事業効果の確認方法	計画で定めた目標指標			目標指標以外の成果指標	その他定性的な成果
	①貿易額	②製造品出荷額等	③企業立地件数		
事業効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> ・計画期間中に一般県道倉敷総社線のバイパス事業が完了し、道路ネットワークとしての円滑な交通が確保され、貿易額と製造品出荷額等の増加につながった。 ・計画期間中に完了に至らなかった一般県道倉敷西環状線等の道路事業については、現時点で完了した箇所もあるが、未完了の箇所については今後継続的に事業を推進し、水島港への物流機能の強化を図っていく。 ・多目的国際ターミナル（耐震強化岸壁）の整備が完了しており、物流機能強化が期待される。 				
外部要因の影響	<ul style="list-style-type: none"> ・リーマンショックにより、平成20年度以降世界的な景気の後退が進んだ。 ・円高により、海外企業との競争が激化するとともに、製造拠点の海外移転が進んだ。 ・平成23年の東日本大震災後、リスク分散の観点から生産体制やサプライチェーンの見直しが始まった。 				
目標達成・未達成の要因 (問題点の把握)	<ul style="list-style-type: none"> ・販路開拓の対象国や対象業種の拡大、海外ビジネスサポートデスクの設置等、経済のグローバル化への対応を着実に推進した結果、目標を達成した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・経営革新計画の作成支援や低利融資等の施策を積極的に推進し、広域受注開拓の支援に努めた結果、目標を達成した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・リーマンショックにより、景気の大きな落ち込みの影響を受けたところであり、東日本大震災後のリスク分散等を図る動きから、徐々に回復傾向にあるものの、結果として、目標を達成できなかった。 		
目標の達成・未達成区分	B	B	C		
全体計画の総合評価	<ul style="list-style-type: none"> ・計画期間が終了した平成23年度末時点では基幹事業が未完成であったこともあり、3つの目標指標のうち1つが目標を達成できなかった。計画期間中に未完了であった基幹事業については既に完成しており、今後は未完了の関連事業を推進していくことで目標指標の改善が期待される。 				

S：計画推進による効果が確認され、評価値も目標値を上回った
A：計画推進による効果が確認されたが、評価値が目標値には達していない
B：計画推進による効果が確認できなかったが、評価値が目標値を上回った
C：計画推進による効果が確認できず、評価値も目標値には達していない

4) 事後評価の手続き

実施体制・実施時期	<ul style="list-style-type: none"> ・県関係部局が評価を行い確定（平成27年度中）
結果の公表方法	<ul style="list-style-type: none"> ・岡山県ホームページにて公表を行うこととする。 URL：http://www.pref.okayama.jp/page/detail-21027.html

広域的地域活性化計画の事後評価報告シート（3）

5) 今後の活性化方策の検討

①未達成目標の改善方策

計画で定めた目標指標	目標の達成状況	改善方策
企業立地件数	C	水島港の臨港道路などの港湾施設や、周辺地域から水島臨海工業地域へのアクセス道路等の整備により、玉島ハーバーアイランドの物流機能の拡充が図られるよう、一層の基盤整備や企業誘致に努める。

②今後の広域的地域活性化方策

水島港の臨港道路などの港湾施設や、周辺地域から水島臨海工業地域へのアクセス道路等の整備により、玉島ハーバーアイランドの物流機能の拡充を図り、関係機関と連携して、引き続き、貿易額、製造品出荷額等、企業立地件数の増加を目指す。

6) フォローアップ

計画目標	フォローアップが必要な目標指標	フォローアップ時期	フォローアップの公表方法
水島港の港湾施設、水島臨海工業地域内の道路網及び水島港を物流拠点としている市町からの主要アクセス道路等を整備し、物流機能の強化を図る	企業立地件数	随時	企業の立地協定等を県ホームページにて掲載予定